

きずな

思いやる 心で築く 明るい地域



豊浜地区
家庭教育講演会

一月二十四日 町体サブアリーナ

部会だより

学習・広報部



副部長
稲生 松 恵

一月二十四日、家推協主催の教育講演会が開かれました。

講師の石黒照康先生は、豊浜ご出身で、学芸大学卒業後、県下の小中学校で教鞭をとられ、現在では武豊町の教育委員会教育長として活躍の方です。

演題の『自然の砂漠、心の砂漠』は、とても興味深いものでした。

先生が、国土の大半が砂漠というより岩盤に近い、不毛の土地イスラエルを旅された時のこと、ある青年が、少しでも多くのミルクを得る為に、ラクダを飼育し、増やすことができた、他の砂漠の国にも教えてあげたい。」と語り、生き生きと働いていたのだそうです。
『慈善を施せ』の教えが、イスラエルの人々の心に生きづいてるからでしょうか。
その時先生は、日本の現状を

ふれあい活動部



副部長
家田 勇 人

考え、「物は豊かになつたけれど、心は砂漠化している。」ように感じられたそうです。
そんな講話をお聞きして、日々の喧騒にかまけて、人間らしさを忘れかけている自分を、改めて反省させられる思いでした。
当日は、小雨の降る中を、たくさんの方々にご来場頂き、有難うございました。

二月十一日、豊浜地区家推協親子歩け歩け大会が行なわれました。

この大会は、豊浜地区家推協ふれあい活動部の、年間を通し数多く行なわれる行事の一つです。

大会当日は、あいにくの雨天でしたが、約三百人という多勢の方が、参加していただき、約6kmのコースを、全員元気に歩きました。コースを歩き終え豊浜小学校に帰ってきた参加者は、グループで、また家族で、用意



親子歩け歩け大会 2月11日

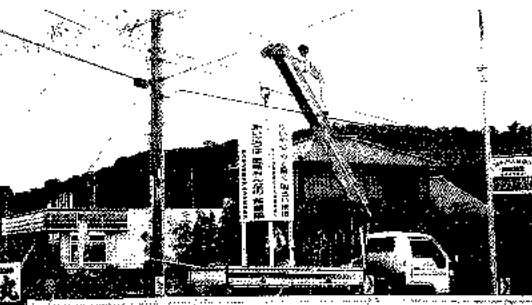
されたあたたかい豚汁や団子で冷えた体を温めていました。皆手にはお楽しみくじの賞品、参加賞品をかかえ明るい笑顔で、大会を終える事が出来ました。
この大会に向け、ふれあい活動部では、立案時より会議を重ね、部会の中で役割分担をしました。事前にコース確認、危険箇所やチェックを行ない、参加賞品やお楽しみくじ、賞品の準備、豚汁の食材準備や下拵え等、また当日は、交通安全内チェックポイント係と、ふれあい活動部に属する多くの個人・団体の協力によって、無事大会を終える事が出来ました。
最後に、大会に側面から協力してくださった多勢の方々、地域の皆様に感謝したいと思います。

教育環境部



副部長
三浦 瀬 一郎

みなさんから寄せられた、テーマ・標語を素に、掲示板を設置させて頂きました。本当にありがとうございます。みなさんの思いが込められた標語を読むたびに、心が動かされます。「思いやる 心で築く 明るい地域」、「あいさつは 地域みんなの 合言葉」、「おはよう」と元氣な声が 聞ける町」と、まだまだたくさんありますが、どれも地域のみなさんの思いが込められたものばかりです。標語の中に、あいさつという言葉が多く出て来ます。私事ですが、わが家では、朝おはようの一言を心がけています。朝一番のコミュニケーションです。ささいな事ですが、毎朝続けていますと、自然に子どもたちともいろいろ話し合いが出来る様になりました。家族がみんな友だちみたいですよ。時にはけんかしますが、それぞれがおたがいを認め合ったり、はげましあったりしています。私はとても幸せです。これから地域をもっとよくしてい



足場の位置はいいかい？

編集後記

最近、非行を引き起こす子どもの低年齢化が進んでいます。大人の社会の反映と言うべきでしょうか。子どもたちにもストレスが少なからずたまっているようです。

私たち親ができることは、そのストレスを乗り越える強い心を育てるため、子どもの心を見守り支えていくことだと思います。

家推協の活動が少しでもそのお役に立てば幸いです。



気持ちをそろえて ジャンプ!

町民体育祭

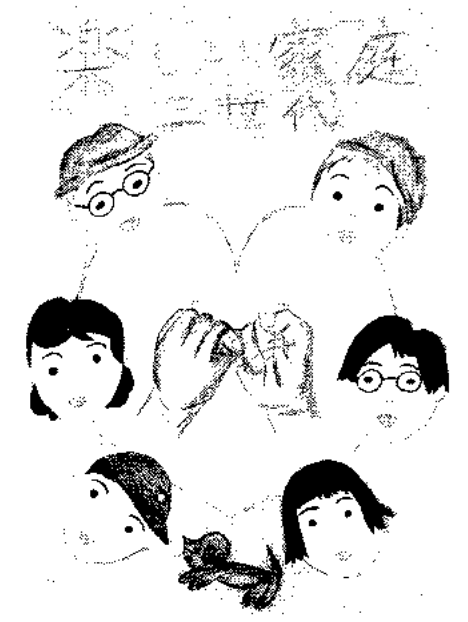
ポスター・習字特選作品介绍

ポスター48点、習字302点の応募の中から審査の結果、次のとおり特選・大選が選ばれました。

ポスターの部



特選 小・中学校の部 豊浜小6年
角 可奈子



特選 一般の部 半月
山下 八重

作る家庭工作



特選 家族の部 家田 馨 子
豊丘・山田 弥生 友里 晃

入選者

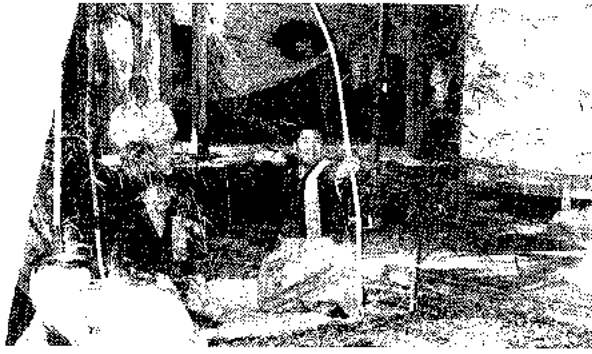
- | | |
|-------|--------|
| 豊丘小4年 | 神谷 理紗 |
| 豊浜小4年 | 相川 舞子 |
| 豊丘小5年 | 神谷 優子 |
| 豊浜小5年 | 榎本 あすか |
| 豊中1年 | 大岩 弘樹 |

今回のポスター・習字の募集にあたりましては、たくさんの方々から作品の応募をいただきまして、本当にありがとうございます。今後も、地域の活動がますます活発になりますよう、よろしくご協力をお願い致します。

弓祭り

乙方 岡田順治

乙方の弓祭りは享保六年講中がで、家筋によって現在右座十名左座二十七名となっている。毎年順番に両座から年男が選ばれ歩射を行っている。年男は一月四日早朝より浜へ行き、身を切る寒気の中海中に入り身を清めてくる。昼食後祭門殿に入り紋付袴等、身仕度を整え神前へと進み、神前において神宮のお祓いを受け玉串奉奠をささげご神酒をいただき弓引場の座につく。



弓祭り(乙方)

弓祭り

豊中二年 齊藤勝也

寸角の板・高さ六尺である。先に左座より二矢づつ二回右座も同じく射ち計十二矢射つ、閏年は左座が一矢を射つ。和やかな雰囲気の中で命具合や矢のそれ具合によってその年の豊作を占っている。

我が町・我が家

今年、うちのお父さんが弓を射ました。的はけっこう離れていて、矢が当るかどうかとても心配でした。けれど、お父さんの射た矢は、六本中四本が命中したので、とてもすごいと思いました。いつか、ぼくも弓を射る番がくるので、やらなければなりません。その時は、頑張って六本中六本命中させたいです。

お薬師さん

光明寺住職 西村 功

豊浜盆おどり歌の一節「小佐の薬師堂で夜が明けた」の薬師堂が光明寺のお薬師さんです。毎年旧暦十月八日のご縁日には沢山の方がお参りされます。大きなお薬師さん、左手に大きな薬壺をもち四百年以上も前から私達の健康を守り病気を治すために毎日頑張っていたのだと思います。「私の健康をいつも気遣ってくれる仏さんがみえる」心強いことです。心の安らぎがあります。親子関係も親はこのお薬師さんのように、いつも子供が立派な大人になることを願ひ、悪いことをした時はしかり、善いことをした時はほめ、いつも子供のことを考えていることが大切だと思います。



薬師堂

わが家の塀

鳥居 與吾 音彦



正月三ヶ日が過ぎた日、ふと見ると庭の塀の板が六枚外れて居る。「またやっつたな」と塀の外は隣の庭と道路のちよとした広場、そこが登校集合場所だ。朝の五分が十分の待ち時間の遊び場だ。ボール投げ、そのボールのぶつけ先がわが家の板塀だ。月に一枚か二枚外される。こんどは六枚はひどい。ボールが当たると外れる様に真鍮の小さな釘で止めてあるだけ。この板塀は私の日曜大工の作品だ。子供達が誰にもしかられないで遊べる様に塀の被害を最小限にするための年寄の悪知恵だった。

ミルク

豊中二年 大岩 まきみ

今、わが家には一匹の犬と猫がいる。猫の「ミルク」がわが家にやってきたのは、ちょうど一年前の事でした。何の相談もなく母が勝手に買って来たのです。家族全員驚いていました。私も初めは怒りを表していましたが、ミルクがこつちに寄ってくるというのまにかそんな怒りなんて消えていきました。今では取り合えずケンカになるくらいです。そんな動物達を一生大切にしていきたいし、離したくはありません。



わが家のアイドル

豊浜サッカークラブ

豊浜小六年 石黒 紘久

ぼくは、サッカーが大好きです。この大好きなサッカーを、日曜日の午前中と、ナイター練習二回を含めて、週に三回練習をしています。部員は、一年生から六年生まで全部で三十二人います。コーチは七人いて、各学年いろんな事を教えてもらっています。そして、サッカーをやり始めたころは、少ししかできなかつたりフティングが今では、百回や二百回できるようなりました。

試合は、町内の大会があったり知多半島の大会があったり、中には県の大会で豊田や刈谷まで行くこともあります。試合に負けると、とてもくやしくて、勝つとみんなで喜びます。雨や雪が降っても、元気に試合をやったこともあります。みんな、いい経験でした。ぼくは、サッカーを通じて学んだことがあります。それは、一人ではできなくてもみんなやればできるという事です。それから、豊浜小学校だけではなく、いろんな小学校の友達がたくさんできました。そして、ぼくはこれからもサッカーを続けて行きたいです。



めざせ、ワールドカップ



ガールスカウト愛知一七団

団委員長 家田 久美

ガールスカウトとは——少女達が、自立心・責任感・積極性・集中力を養い、自分の可能性を発見し、主体的に生きること。

私達一七団は、発団して今年で五年目を迎え、現在小学二年から中学三年まで四十八名のスカウトが活動しています。活動内容は、ガールスカウト独自の活動の他、地域の活動にも積極的に参加しています。九月はあい寿の丘のおじいさんやおばあさん達の車椅子を押し、一緒に花畑を

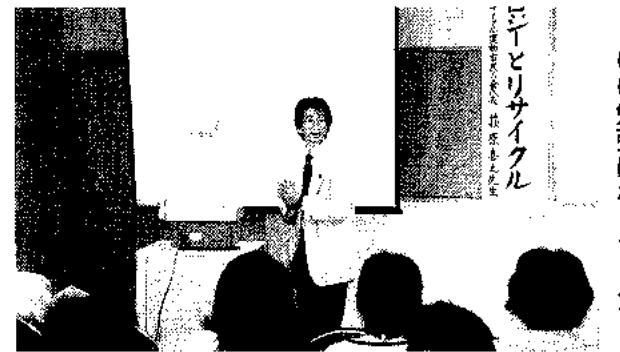
各種団体

紹介します

散歩します。帰り際には、「ありがとう、ありがとう」と言っておいてスカウト達も大変感激し、毎年楽しみにしている行事です。十一月は、町民体育祭にリズム手旗で参加しています。一ヶ月前から練習し、成果を発表します。産業まつりでは、赤い羽根募金、ユニセフ募金などのお手伝いをしています。



できるよになったわ！
ロープ結び



いい勉強になりました

豊浜地区婦人会

会長 山本光子

婦人会活動には、奉仕活動・協力活動・クラブ活動・料理教室・婦人教室等々。その中の一つ婦人教室では、(高齢社会に向けて)を学習テーマとして、「エコロジーとリサイクル・走る町政教室・救急法と炊き出し・ソフトラレー大会・健康体操」と、生涯学習の扉を開くうえで、少しでもお役に立つて戴けたらと願いつつ、五回にわたって開きました。大勢の参加者を得て無事終えることが出来ました。活動を通して感じたことですが、ただ漠然と年を取っていくので

はななく機会があれば積極的に社会参加し、何か趣味を見つけ、これからも学びつづけ、より良い人生を築いて戴けたらと思っています。

更生保護婦人会

会長 丸山みち子

私達の会は保護司会活動に協力して、地域社会の浄化を図り、公共の福祉に寄与することを目的としています。社会を明るくする運動月間には犯罪や非行の防止に小学生の皆さんに、ポスター、標語を書いてもらい、地域に表示、啓発用資材配布、広報車で住民の皆さんに理解と協力を願ひして、町内に呼びかけました。麻薬覚せい剤乱用防止の街頭活動、更生施設への慰問、院外学習の昼食作りをして院生とふれあい、話合いが出来たこと、暖かい家庭づくりの大切さをつくづく感じました。少しでも早く少年達が立ち直ってくれる様に祈らずにはいられません。地域のボランティア活動として敬老まつり、デイサービスの運動会に協力、ふれあい昼食会のお手伝い、慰問等行っています。犯罪や非行のない明るい住みよい地域づくりに、皆様方の御協力をお願いして、少しでもお役に立てればと思っています。

習字の部

対話ある家庭
中洲 稲生佳代子

な豊心か
豊浜中一年 天木見好

なきぎす
豊丘小四年 伊藤 都

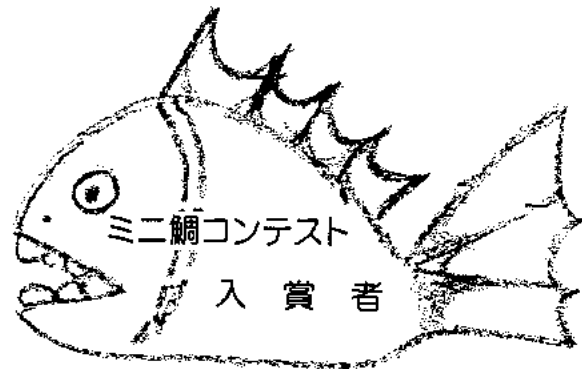
特選 豊丘小4年 伊藤 都

特選 豊中1年 天木見好

特選 一般の部 稲生佳代子

入選者

- 豊浜小1年 木原英里
- 豊浜小2年 鳥山結加
- 豊浜小3年 山本恵子
- 豊浜小4年 田中綾乃
- 豊浜小5年 高浪りみ
- 豊浜小6年 山下知子
- 豊中2年 山下実恵子
- 豊中3年 加藤智美



- 最優秀賞 豊浜小5年 天野亜紀
- 第二位 豊浜小2年 大岩れい
- 第三位 豊浜小4年 磯部英宏
- 特別賞 豊浜小3年 相川理沙

豊浜中学校生徒5名共同製作

- 入選 豊浜小4年 家田理奈
- 豊浜小4年 大岩みなみ
- 豊浜小4年 飯田紗代
- 豊浜小4年 山下加奈子
- 豊浜小4年 山下智里



力を合わせたタイフーン

豊丘小三年 榎原 ほなみ
 はじめて豊浜とタイフーンの対決をしました。わたしは、アンカーだったので、すぐドキドキしました。
 待っている間に、竹をとびこしたり、くぐったりして練習をしました。くぐる時に首を急に低くしてやっただので、首がちよっといたくなりました。
 わたしの走る番になった時、むねがドキンドキンしてきました。

そして、みんなで、いっせいに竹を持っておもいっきり走り出しました。そして、「一位、豊丘。」
 って聞いた時、わたしはすごくうれしかったです。

ふれあい広場



上へ、下へ、順序よく 体育祭 順送球

うわきもの

小佐 杉山 育代

町民体育祭で、うわきものに出ました。練習も雨降り以外は毎日の様に練習しました。練習の初日、たるは思う様に転がらず、大変な思いをしました。すごいプレッシャーで、たるから逃げたくなりました。だけど私より年下の若い、たる仲間にもまされ、何とか練習も終え、町民体育祭当日、手も震え、胸もドキドキ、自分で何をしているかわからずゴール目指して、一生懸命でした。町民体育祭を通じて、知らなかった人と出会い、いい思い出ができたと思います。

ミニ鯛コンテスト

豊浜小五年 天野 亜紀

今年の鯛まつりのときミニ鯛コンテストがなかったの、もう今年はないのかなあと残念だなあと思っていました。そして9月ぐらいいもうしこみしよがきました。さっそくもうしこみしました。作る時どうゆうかんじにしたらいいかわからなかったの、お母さんにアイデアをもらったり、お父さんは毎年お祭りの鯛を作りについているのでひれのこまかいぶぶんをおしえてもらいました。もっていきりぎりの日までにかんせいしました。またやりたいです。



ほくたちの鯛の方が立派だよ!!

運動会

須佐保育園 相川 久美子

毎年祖父母と園児との競技プログラムにあるのですが、長女の頃に比べ、参加する人も年々増えているように感じます。
 近年核家族化が進む中、このようなふれあいがもてるのは良い機会です。楽しみにもなっています。今年は、子どもと手をつないで、大きなボールでまわりつきをしながら走るリレー競争でした。祖父母の皆さんは大ハッスル。子どもと手をつなかり握り、一生懸命走っていました。思わず大声で応援をしてしまった運動会の一幕でした。



手と手をつないで ヨーイ・ドン 須佐保育園

コスモスイベント

乙方区長 斉藤 鐘之

コスモスイベントは、平成三年の全国海づくり大会の時に県道沿いの水田にコスモスを咲かせて以来、地元の活性化と潤いを図るため町や地主の協力を得て開催しています。今年は、台風で開催が危ぶまれましたが、ピンクや白のコスモスが畑一面に咲きそろう中、写生会やゲーム大会等保育園児や子供会を始め若者からお年寄りの参加を得て盛大に行うことが出来ました。イベントを通じて子供たちが心豊かに成長してくれるよう願っています。



コスモスの花のような 美しい心で...



大好きなおばあちゃん ありがとう! 中洲保育園

祖父母の集い

中洲 保育所

大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと膝とりゲーム、肩たたき、こま回し等一緒に遊んだり、おやつを食べたり、楽しくふれ合う事ができました。
 膝に座ってとても嬉しそうなお子も達の姿を見ると、いつまでも元気でいてほしいと思います。
 子ども達は元気に歌を歌ったり、似顔絵のプレゼントをしたり、似顔絵のプレゼントをしました。この祖父母の集いを通しておとしよりをいたわるやさしい気持ち、思いやりをもった子どもに育ってほしいと思います。



まずは、あいさつから

鳥居 加藤 寿子

長女が中学に入学して間もない頃、「朝子供におはようという声をかけていますか?」というアンケートがありました。その時は、何で今さらあいさつという当たり前の事を...と不思議に思いました。
 しかし最近、家庭や地域でのふれあいの機会が減ってきたように思います。そんななかからこそ、あいさつを見直してみませんか。まずは親子で、そしてお隣りに。こんなに簡単で人と人を結ぶ、素晴らしいコミュニケーションはないと思います。

親子歩け歩け大会に参加して

初神 藤田 祐子

学校を出て最初の頃は、子供と一緒に歩いていたのに、パイロットの登り坂付近から子供は友達と前の方を歩き、私は遅れをとってしまいました。学校へ着くと、「お母さんおそい。」の一言。
 昨年は参加しませんでした。一昨までは、手をつないで歩いてきたのに...
 雨の中の歩け歩けでしたが、思い出しに歩きました。また来年も参加したいです。

やったね!!

豊中一年 山本 雄市

ぼくの家は、海の近くにあるので、昔からつりをしていました。ときどき池にもつりに行っていましたが、今回のつり大会では、はじめていきました。最初は、初めにいた場所は、まったくつれませんでした。この場所ではつれないと思いつつ、つれだしてきました。最初につれた魚はアイゴです。アイゴは、みんながたくさんつっていました。その次につれたのはカレイです。その次はコチです。そして時間がきました。全部で二十四匹をこえていました。そして、結果が発表されました。見事三位でした。「ヤリイ」って感じでした。



しかけの準備 よーし



すっかりきれいになったヨ クリーン作戦

ゴミ分別収集で思うこと

半月副区長 澤田 千廣

現在町内においては月2回ゴミの分別収集が行われており、私も時々参加しておりますが、ペットボトルの多いのには驚かされる。先般の新聞によると、ペットボトルの再生処理能力も限界にきており、需要と供給のバランスが崩れ、価格が低下しているとのことである。ペットボトルに限らず、今や家庭ゴミ処理は大きな社会問題であり、私達一人一人がゴミの減量化につとめるとともに、なお一層の再生利用を総合的に進める必要があるのではないか。